

令和 7 年 1 2 月 8 日

五城目町長 荒 川 滋 様

五城目町地方創生総合戦略推進協議会
会 長 佐 藤 佳 伸

五城目町まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する令和 6 年度事業
の効果検証及び評価等について（答申）

令和 7 年 1 1 月 2 8 日付け五まち第 2 1 9 0 0 7 号をもって諮問
のありました五城目町まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する令和
6 年度事業の効果検証及び評価等について、協議を行った結果、次の
とおり答申いたします。

なお、協議の過程において、別紙のとおり意見がありましたので、
今後の事業実施にあたって十分な配慮をお願いいたします。

— 答 申 —

1. 各課において、関係人口の創出や移住定住、教育留学など、新しい
人の流れを生み出す施策が着実に成果を上げつつあることを評価する。
一方で、人口減少や獣害などの課題に対し、従来の枠組みを超えた「持
続可能な仕組みづくり」への転換が求められている。

（1）農林振興・産業分野

- ・新規雇用補助については、正規雇用に限定せず、シニア層の活用や
副業、短時間勤務など、現代のライフスタイルに合わせた柔軟な雇
用形態を支援する仕組みを検討されたい。

- ・「事業所改修支援事業」等は、新規創業や移住者の受け皿として極めて有効であるため、予算確保を含め継続的な支援を行うこと。

（２）教育・子育て分野

- ・教育留学制度について中学生の受け入れ体制強化に向け、小学校・中学校間のノウハウ共有を進めること。事業評価指標（KPI）を単なる「人数」から、「滞在日数」や「満足度」、「リピート率」など、質の向上や関係性の深化を測る指標へ転換すること。
- ・放課後の子供たちの居場所として、学校だけでなく「わーくる」や「雀館公園」などの地域資源を有効活用し、地域住民との関わりを深める環境整備を進めること。

（３）持続可能な町づくり

- ・まちづくり課等の若手職員が、失敗を恐れず新たな企画に挑戦できる裁量を与えること。
- ・姉妹都市（千代田区）や県外、海外など、「外の世界」へ職員や子供たちが積極的に出ていき、新たな知見やネットワークを持ち帰る機会（研修、出向、グローバル人材育成事業の拡充など）を積極的に設けること。
- ・まちづくり課等で培われたノウハウや熱量を他部署へも伝播させ、役場全体で連携・サポートし合う組織文化を醸成すること。
- ・町役場が民間と共に「元気な組織」であり続けるために、人への投資と柔軟な組織運営を期待する。

以上